

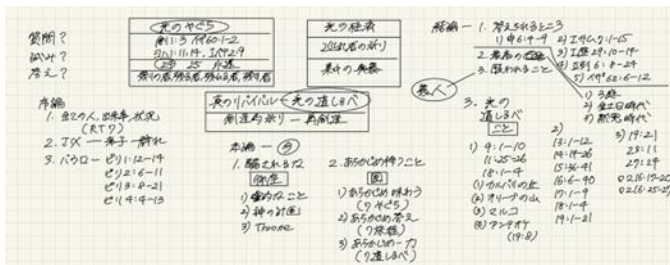
[区分]2025 元旦祈禱会 3

[日時]2025.1.1

[講師]柳グアンス牧師

[主題]第 1,2,3RUTC 永遠の答えの始まり

[題目]真のリバイバルー光の道しるべ



ありがとうございます。日に日に人々は自己主張ばかりします。また、自分たちだけが正しいと言います。自分の思想が正しいと言います。日に日に極限の対立をするようになるでしょう。ですから、災いが臨むのです。ですから私たちは、信仰の人たちはどのように勝ったのか、ということなのです。

光のやぐら

光のやぐらを立てた。この光だけが暗闇に勝つことができるので。

創1:3、イザ60:1-2、ヨハ1:11、14、Iペテ2:9

この光はただの光ではなく、創造の光です。この光を御言葉で受け取り、伝達した人たちが災いを止めたのです。完全に滅びの中にいるとき、「起きよ、光を放て」。イエス様が光として来られました。ですから、この御言葉を握った者に神様の働きが始まるのです。Iペテロ2:9、この光をのべ伝えるために召された。

24, 25, 永遠

ですから、みなさんが祈りで始めることができるのなら、この祝福(24)を味わうようになります。みなさんの生活、一日を、祈りで終えることができるなら、みなさんは必ず光のやぐらを立てるようになります。騙されないように。ほとんどがこのようにしていません。私が感じたところでは、ああ、この人はたくさん祈る人だな、というよりも、祈りをどうしていないな、と感じることの方が多いです。もっと重要なことは、3団体の祈り、その祈りを言っているではありません。24。必ず覚えておくことです。今、定刻祈りをしている団体はたくさんあります。それを言ってい

るわけではありません。24です。24、この光のやぐらを味わうことです。

そうすれば必ずこの答え(25)が来ます。すると、必ず作品(永遠)が出てきます。

残りの者、残る者、残れる者、残す者

ですからみなさんは、残りの者であり、残る者であり、残れる者であり、残す者の祈りが始まるようになるのです。これが、第一講義です。

この祝福を、これ(24)さえ味わっていればいいのです。そうすれば、待てば、来ます(25)。そして、完全に変わります。

ヨセフが奴隷として行きました。答えですか、呪いですか? さあ、この祈り(24)がわからなければ解釈できません。どうして濡れ衣を着て監獄に入ったのですか? 答えですか、呪いですか? 祈りを知らない人は100%呪いを受けた、と言うでしょう。答えです。ヨセフはこの中(24)にいました。奴隷として行たくせに、「屋上に行って少し祈ってきます」ありません。24。この奥義(24)がたいへん重要です。

ですからレムナントは、とにかく朝起きて5分だけすればいいです。これをしないのです。一生をあわただしく起きます。一生を追われます。一生眠いです。一生忙しく走って行きます。何か落として、また帰ってきて、拾って行く。その、祈る人は落とし物をするがありません。拾ってまた行く。そしていつも追われます。ある日問題が起きます。あわてます。縛られます。だから脳と心臓が耐えることができない。すると霊的な問題がパッと来てしまいます。そして後には永遠なものをつなげるため仕方ありません。

まったく、騙されず、見つけ出すことです。そうする中で、みなさんに何か問題が来たらすぐに答えが見えます。本当に答えが見えて、本当に神様の働きが見えます。だから勝つのです。答えが来てないのに我慢する。どうやって我慢しますか。確かな神様の答えが見えたわけです。勝つことができます。私たちに望みが確かなのなら、いくらでも忍耐できます。ですからそれを毎週握るのです。それに加え、もう一つ必ず覚えておくことがあります。歳を少し取られた方は、必ず一日に一度は深い祈りの中に入ることです。そうしてこそみなさんが病気になりません、ひとまず。

レムナントたちはこの脳を生かさなければなりませんので、25歳以上になりますととにかく脳は壊れていきます。そのため、深い祈りの中に入っていきべきです。

巡礼者の祈り

それを指して昨日話しました。巡礼者の祈りだと言いました。進まないといけないから。難しい道を行かないといけないから。これ(左の表)は残りの者の祈りですが、これ(右の表)は巡礼者の祈りです。

集中の奥義

一日に一度は必ず集中の奥義を持つべきです。

光の経済

このようになれば、たくさんのお答えも来ますが、みなさんにこれ(光の経済)が回復されます。すべての聖徒が人生の最後に一つ回復すべきことが何か。教会を生かす経済、宣教経済、レムナント経済、回復されるべきです。

真のリバイバル—光の道しるべ

さて、今日最後の時間です。みなさん、必ず握ることです。みなさんは今から、これから、私たちに、真のリバイバルが起きるべきです。そうですね？私たちが生きていく中で真のリバイバルが起きるべきではないでしょうか。真のリバイバルが起きるためには、どのようにすべきでしょうか？

真のリバイバルを起こす理由は何でしょうか？このときから、光の道しるべを立てるのです。これがとても、とても重要です。絶対道しるべだとも言いますし、光の道しるべを立てることです。

“創造的祈り—再創造”

この祈りを指して、創造的祈りです。さあ、創造は神様がなさいますが、このときから私たちに再創造の祈りが始まるのです。みなさんの身分と権威でこの祈りをするようになるのです。

質問？ 試み？ 答え？

さて、この3つ(3つの表)がわかれば、この部分(質問)が変わってきます。あまり質問することがありません。そうですね？

この祝福をみなさんが持っているのなら、試みに会うことがそんなにありません。なぜ試みに会うのでしょうか。答えをしっかりと持っているのに。

この祝福を持っていれば、みなさんにある面では答えが何か、聞く必要もありません。さて、今日答えが何かわかっていきべきですが、この場所に座っていること自体が神様の答えですから答えが何か、聞く必要がないのです。ですから、極限的な状況で「主が私と共におられるので」と言いました。全てのこの答えを持った人がそのように表現しました。

そうでないとみなさんが一つの教会で信仰生活するのも難しいです。一つの教会で生まれて最後まで信仰生活する？奇跡です。あまりいません。できません。することができない。何かがあって崩れます。できません。なぜか。答えがないから。絶対続けられないようなことが起きるから。このようになってしまいます。できません。ある人は引越すついでに教会をやめる人も多い。教会を通っていたのにやめる人も多い。そうですね？多いです。「私は昔執事もやったよ。」しかもある人は「長老もやったよ。」

日本で見たでしょう？この女性が韓国人が通り過ぎるから熱心に呼び止めるのです。どこか売春婦のところに紹介しようと声をかける。見てみると韓国の人です、女性が、この女をとらえてうちのチームが福音を伝えた。この人がイエス様を受け入れました。わんわん泣きながら信仰告白をしました。牧師婦人でした。啞然とする話です。そういう人が多いです。答えが出ないから。

みなさんが行くところで、人を生かす真のリバイバルが確かに起こるべきです。このような道しるべがところどころに立つべきなのです。

序論

さて、そのためには少し序論で見るべきことがあります。ひとまずこの祈り(3つ目の表)の前に序論で必ず見るべきことが3つあります。

1. 全ての人、出来事、状況(RT7)

日に日に私たちの周りは混乱していくので、すべての人、すべての出来事、すべての状況を受容しなさい。

レムナント7人がそうでした。そうでないと絶対世界福音化できません。レムナントたちは必ず覚えておくことです。現場に行くとあらゆる状況に置かれます。受容、超越。さ

て、時間がありませんから。

2. JX—弟子—群れ

イエスキリストが二つの方法を取りました。何でしょうか？弟子と群れ。二つの方法を使いました。群れには多くの愛を施しました。しかしみな逃げて行った。弟子。これはいつも覚えておくこと。そうでないとみなさんは祈りの答えをすべて逃します。

3. パウロ

パウロの告白を一度聞いてみる必要があります。

—ピリ1:12-14

ピリポ1:12-14で、パウロが牢獄の中にいる状況です。ほとんどの聖徒たちが試みに会いました。しかし、パウロはここで何と言いますか？神様の最も大きな計画がなされていると。ですから現実を見て計算してはなりません。

ピリ2:6-11

パウロに苦難がきました。何と言いましたか？キリストも苦難を受けられたではないか。ピリピ2:6-11。

ピリ3:8-21

パウロが何と言いましたか？これまで、みなさんがたくさん学んだこと、それが答えですか？これまでたくさん誇ってきたこと、それが答えですか？と言いました。私はちりあくただと思っています。何の価値もない。これまで、地上で得たこと、それが答えですか？私は上に召して下さることを得るために走ります。ローマの国籍が答えですか？私たちは天国の国籍を持っているではありませんか。これまで私たちがたくさんしたことをしてきたと言いますが、そうですか？私は得たのでもなく、完全にされているのでもありません。これから、キリストを捕らえようとして、追及しているのです。私たちの国籍は天にあります。背景を語りました。背景を語ったのです。

ピリ4:4-13

そして、ピリポ4:4-13、「喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい。何も思い煩わないで。感謝をもって神に知っていただきなさい。」問題が来ているのに。「そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心

と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます」。そうしながら、「私は、私を強くして下さる方によって、どんなことでもできるのです」。重要なことはこれです。現住所を言いました。「私を強くして下さる方によって」。監獄の中にいるのではなく、「私を強くして下さる方によって」。暗闇がすべて打ち砕かれます。世界福音化が起こったのです。

すると行くところどころで光の道しるべを立てるべきですが、どのように立てるのか、ということです。これがとても重要です。

本論—今

これを立てるべきですね。これを立てようとすると、今どんなことが起こっていますか？これがわかるべきです。契約を持ったみなさんが今祈っているわけですが、どんなことが起こっていきますか。

1. 騙されないこと

一つ目、騙されないこと。

2. あらかじめ持つこと

二つ目、あらかじめ持つこと。

3. 光の道しるべ

3つ目、誰も止められないことがあります。光の道しるべ。さあ、これで作ります。

1. 騙されないこと

御座

みなさんが今祈るときにどんなことが起こるのか。騙されない、一つ目のことは何でしょうか。御座の働きが起こっています。

イエス様が言われました。40日の間、神の国のことを説明された。信じることです。みなさんが祈る時間に、騙されさえないなければ、天の軍隊が動員されます。合っていますか？ここで勝負がつくのです。これを信じないから、祈っても祈らなくても。祈ってないのです。答えが死んでも来ない。教会のリバイバルは死んでもできない。世界教会は門を閉ざす。正しい話をずっとしたのに門を閉ざす。ヨーロッパ教会は門を閉ざして久しい。アメリカ教会は何万カ所も崩れている。なぜ？信じないから。神様がくださ

った最高の約束を信じません。ならば何を信じるのですか？御座の働きが起きています。信じることです。祈ってみてください。

1) 霊的なこと

ですから、霊的なことが先に起こってこそ答えが始まるのです。そうですね？

自殺する人が急に道を行く途中、コーヒーを一杯飲んで自殺でもしてみようか。そんなことをする人はいません。そうですね？霊的死が先に来てしまったのです。霊的死が先に来てしまったのだ。霊的絶望が先に来てしまったのです。私たちに答えがくる際、霊的なものが先に来る。ですから、人本主義を使う必要はありません。競争もする必要はありません。みなさんは競争するような、そういう者ではありません。騙すようなこともする必要がありません。霊的なもの。騙されないでください。

2) 神様の計画

二つ目にどんなことが起こるのか？この御座の働きを信じて祈れば、神様の計画がなされます。私たちのものを成すものではありません。私にこの霊的なやぐら、光のやぐらが立ったので、神様の計画がなされます。当然、必然、絶対。誰かを嫉妬することもない。当然、必然、絶対。

もっと重要なことが出てきます。みなさんが行くところはノーバディーです。そうですね？ノーバディーでなければなりません。みなさんが行くところはナッシング。何もあってはいけない。なぜでしょうか？御座の背景で。このとき出た単語がヘブンリーという単語が出ました。このとき何でしょうか？スロンリーというものが出てきました。このとき何でしょうか？エターナリーというものが出ました。

3) Throne

3つで全部ですが、一言で略すならば、みなさんの背景は御座である、ということ。信じることです。ここから全ての答えが出るか、出ないかが決まるのです。未信者と同じ。信じないから。口では信じると言うが、信じません。みなさんが祈るときに御座が動きます。合っていますか？「昼の間も、夜の間も、決して黙ってはいならない。」とにかくこう(24, 25, 永遠)してしまえばいいのです。

2. あらかじめ持つこと

2つ目です。あらかじめ持つべきものがあります。祈るときにどんな答えが来るのか。二つ目です。御座は背景です。そうですね？このときから答えが来るのです。

神の国が臨むのです。これが二つ目に起こることです。御座そのものが私の背景です。ところが、神の国が臨みます。イエス様が言いました。祈りをどうしましょうか。「御国が来たりますように、と祈りなさい。」「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」「40日の間神の国のことについて語られた。」信じることです。今どんなことが起こっているのか。

1) あらかじめ味わう(7やぐら)

祈りで神の国をあらかじめ味わうことです。これを指して、7やぐら。これを味わえませんか？祈りで。とにかく祈りで。

2) あらかじめ答え(7旅程)

あらかじめ答えを受けます。これを指して何と言いますか？7旅程。あらかじめ答えを受けるのです、答えを。すでにみなさんに神の国が臨んでいるのです。これが答えでないように見えますね？これが未信者と、未信者の状態であるわけです。

3) あらかじめ一力(7道しるべ)

あらかじめ力を得る。これを指して7道しるべだと言います。今から。

3. 光の道しるべ

このときから道しるべの祈りが出てくるようになります。ついに、神の国、御座が背景ですが、その神の国のことがなされます。これが道しるべです。さて、神の国のことがなされてしまいました。どのようになされたのか見てみましょう。絶対に、絶対に逃してはいけません。

1) 9:1-10, 15

使徒の働き9:1-10、ダマスコに行く途中、キリストに出会ったのです。キリストで終わってしまったのです。みんなまだ完了していない。キリスト完了してしまうべきです。あ、そうだったのか。答えが全部出てしまいました。15節、王の前にあなたを立たせるために呼んだと言いました。いいですね？

11:25-26

その契約を握ってアンテオケ教会へ行ったのです。そこでバルナバに出会います。

18:1-4

そして宣教地域に行ったのですが、マルコの屋上の間に参加していたプリスカ夫婦に出会ったのです。ここで4つの道しるべが出てきます。

(1)カルバリの丘

そこに行ってもいないのに、カルバリの丘の道しるべ。行っていないのに。

(2)オリーブの山

オリーブの山の道しるべ。

(3)マルコ

マルコの屋上の間の道しるべ。

(4)アンテオケ(19:8)

ついにアンテオケの道しるべ。

この4つがはっきりと立ったのです。その証拠、19章8節、「神の国について大胆に論じた。」

今日礼拝する時間、御座の背景を持って神様はみなさんの人生を完全に責任取ってくださいます。今この時間、神の国が臨む時間です。みなさんの行くところに、ついに道しるべが立つのですが、神の国のことが成されていくのです。終わりです。

だからパウロはこれを知ってあまりにも驚き、「私はこれまで誇ってきたことをちりあくただと思っています。」「これまでのことを損だと思っています。」「ちりあくた程度ではありません。損だと言うと言いました。「私は知らなかった。」そして「成し遂げたことはない。地上のものは重要じゃない。すでに地上のことは全てやってみた。上に召してくださる神の栄冠を得るために。」「ローマの国籍？大したことない。天の国籍。万物をご自身に従わせることのできるその名が私に与えられている」。ですから世界を征服したのです。

そして見てください。二つ目のことが起こっていきます。完全に光の道しるべ、絶対道しるべが立っていきます。このように出てきます。

2)13:1-12

13章1節から12節を見ると、完璧に聖霊の導きを受けます。御霊が人、場所、出来事、完全に導きました。そうしたら暗闇が打ち砕かれてしまったのです。絶対やぐらが立ちました。総督が。

14:14-26

さあ、よく見てください。このときからです。14章14節から26節です。ここがどこでしょうか。パウロが福音を伝える最中石に打たれて死にました。死んだのですが、人々が、パウロが死んだと思って町の外に投げ捨てました。ところがパウロが立ち上がりました。聖書にこのように書かれています。「翌日彼は立ち上がって町に入って行った。」なぜでしょうか？確かにやるべきことがあったので。そこがどこですか？この場所がルステラです。ここに誰が出てきましたか？時代的な道しるべ。テモテが出ました。聖書をよく見てください。

15:36-41

15章36節、41節。さて、バルナバとパウロが争います。なぜ争いますか？大きく争いました。パウロは、「マルコを連れていけない」。バルナバは「連れて行こう」。これです。ところが、神様はパウロの味方でした。そうですね？何が違いますか？バルナバはどうして連れて行こう、と言ったのでしょうか？自分の甥だから。パウロはどうしてなぜ連れて行かないと言ったのでしょうか？絶対やぐらを立てないといけない。絶対道しるべを立てないといけない。光の道しるべを立てないといけない。それです。後に、このマルコが回復されたとき、連れて行きました、別のところに。よく見てください。みなさんが受ける祝福です。みなさんの行くところごとに、真のリバイバルがどんどん起こっていくべきです。

16:6-40

さあ、ついに見てください。16章6節から40節です。とても重要な部分です。リバイバルの、光の道しるべを立てる、その瞬間です。門が閉ざされたとき、行動してはいけません。門が閉ざされたが行動せず祈ったら、マケドニアへ。それも幻の中で。もちろん神様が働けばコーヒーを飲みながらでも働きが起ころうでしょう。しかしたいい神様が特別な恵みをくだ

さるときというのは祈るときです。それで行ったところ誰に会ったのか？ルデヤに出会ったのです。そうした後に、悪霊につかれた人を治したのです。そうした後に、監獄の中で働きが起きました。みなさんにある祝福です。光の道しるべを立てなさい。光の絶対やぐらを立てなさい。

17:1-9

17章1節から9節を見てください。会堂へ入りました。ここで、キリストに関する確かな説明をしました。ここがテサロニケです。ただのテサロニケではなく、ローマと高速道路が通じる国。テサロニケ。ここで他のやぐらを立ててはいけません。キリストのやぐらを立てたのです。

18:1-4

さて、ついに見てください。プリスカ夫婦に出会ったのです。今、完全に光の道しるべを立てているのです。

19:1-21

使徒の働き19章、もっと重要です。1節から7節を見ると、伝道からしたのではないのです。仕事からしたではありません。祈る中で、マルコの屋上の間の働きがそのまま起きました。そしてツラノに入りました。大騒ぎになりました、ツラノが。これが光の道しるべです。立ててください。必ずあります。

3)19:21

3つ目です。光の道しるべをただ立てるのではなく、どのように立てるのか見てください。「ローマも見なければなりません。」そうです。確かな神様の道しるべを立てられたのです。

23:11

神様が引用されます。「勇気を出しなさい。ローマでもあかしをしなければならない」

27:24

「恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。」

ロマ16:17-20

ローマ書16章17節、20節です。みなさんが行く道でサタ

ンが踏み碎かれる働きが起きます。

ロマ16:25-27

ローマ書16章25節、27節。隠しておいたものをみなさんに神様が持って行ってくださる。これが本当の答えです。隠しておいたものを。この祝福を受けることを願います。うちの教会のリバイバル、そういうものは心配しないでください。私たちは商売人ではありません。成るようになっています。これからどんなことが起こるのか見てください。リバイバルさせるための目的ではありません。真のリバイバルが起こるべきです。災いを食い止めなければならぬ、ということ。

結論

すると重要な結論が出る。どんな結論が出ますか？

1. 答えられるところ

神様が答えを持ってみなさんのところに訪ねて行かれる。神様が答えられるところ。わかるべきですね？

2. 最高のもの

神様が本物をくださるところ。それがわかるべきだ、ということ。です。

3. 願われること

神様が本当に願われること。

1. 答えられるところ

1)申6:4-9

申命記6章4節、9節です。レムナントたちを集めておいて、これまでにあった全ての出来事を刻印させなさい。そうですね？ここに神様が働くのです。

2) Iサム7:1-15

「イスラエル人をみな、ミツパに集めなさい。」ペリシテを言い訳にするな。ミツパに集まりなさい。主のもとに集まりなさい。ここに神様が答えられるのです。

3) I歴29:10-14

さあ、よく見てください。ダビデが一生をかけて祈り、神殿の準備をしたのです。そのあとを見ると、神様は全てのもの

のをダビデへと持ってこられました。

もらうためではありません。もらえないのがおかしいということ。みなさんに、祈ってもいないのに神様が答えられるはず。7.7.7祈りをしただけで答えられるはず。今年は逃してはいけません。

4) II列6:8-24

ついに何でしょうか？ドタンの町です。神様は全てを持って行かれました。絶対みなさんのものです。

5) イザ62:6-12

見張り人であるみなさんに神様はすべてを持って行かれます。

2. 最高のもの

1) 3庭

さあ、神様はこのときから最高のものを持って行かれるところがあります。3庭があるところ。3つの庭がある教会。

2) 金土日時代

子どもたち、祈り方を知りません。金土日時代を開く教会。覚えておくべきです。

3) 黙想時代

ネフィリムに全て奪われました。黙想時代を開く教会。こちらの方にすべてを持って行かれるはず。

3. 願われることー 義人

神様が願われること。本当に福音を伝える弟子がいるところ。

ソドムとゴモラ。神様が言われました。罪人のせいで滅んだわけではありません。義人10人がいなくて滅ぶと言いました。ソドムとゴモラに福音を伝える義人が10人いれば滅びないと言いました。そうです。私たちの教会の中に、今メッセージを聞くみなさんの教会の中に、全世界に散らされた人たち、メッセージを聞くみなさんに、本当に福音を伝える人がその教会にいるのなら神様は全てを持って行かれるはず。合っていますか？「この御国の福音はすべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」しっかりと握ってください。他のものはいりません。驚くべき働きは続くはず。

この3つ(3つの表)が、みなさんが味わう…本当に光の道しるべを作るべきです。みなさんの中に光のやぐらを立てるべきです。そうしてこそ闇に勝つことができます。そして、他のことはわからなくても、光の経済を回復すべきです。教会を生かす、宣教できる経済、レムナントを育てることのできる経済を回復するのです。この3つの祈りを2025年、今年続けることです。みなさんは勝利するようになっています。しなくても構いません。しかし、きます。なぜか。証人として。

この祝福がみなさんと全世界、すべての家族に臨むことをイエスキリストの名前で祝福します。他のものは嘘です。聞かないでください。しょっちゅう嘘を聞くからことが上手くないのです。イエス様が言われたもの。光のやぐら。これから光の経済を回復し、光の旅程を進むべきですね。ところどころで光の道しるべを立てなさい。暗闇は即座に逃げ去るはずだ。

三位一体の神様に栄光の拍手を捧げましょう。神様に栄光をお捧げします。お祈りします。

この奥義を回復する一年とさせてください。騙されないようにしてください。神様の奥義を見る霊的目を開かせてください。主イエスキリストの御名によってお祈りします。アーメン。